

# Art in Takasegura 彫刻展を開催しました!

勝野真言 彫刻展 -土の手仕事、火の仕事III-

高瀬蔵彫刻展は2009年からスタートしました。新型コロナの影響による開催中止を除けば、ほぼ毎年実施してきた蔵の定番イベントです。今までは崇城大学芸術学部の学生さんたちの作品を中心に展示し、指導教官である勝野真言先生の作品は2~3作品という構成でしたが、今回は全作品先生の手による個展として開催しました。

先生は熊本に住まわれてから、天草陶石を使った白磁の彫刻制作に長年取り組んでこられました。この味わい深い白磁の輝きと、可憐でありながらも驕りのある女性の表情がとても印象的で、勝野ワールド全開の展示会となりました。先生には国内外を問わず多くのファンがいらっしゃるようで、横浜のギャラリーの方が今回の個展のために日帰り来場されたのには驚きました。

彫刻展は街なかのギャラリーで開催されることが多いと思いますが、今回は古民家の雰囲気だよう高瀬蔵ホールでの展示会です。蔵の太い柱や梁に囲まれた大空間が、白磁の作品と対峙しながらも融合する素晴らしい彫刻展となりました。 (まちづくり推進部会・坂井)



勝野真言 「土の手仕事、火の仕事III」

## 『高瀬蔵恒例のガラクタ市』

今年は2月19日(日)に開催します!!  
売り切れ御免! 例年好評を頂いている、  
恒例の高瀬蔵ガラクタ市。

あなたが探していた物や思わぬ掘り出し物が見つかるかも♪♪

何が出るかお楽しみ!! カフェもやります。  
ご家族、お友達でお誘い合わせのうえ  
お越しください。

(商店会イベント部会)

## 受付スタッフ一同 本年もよろしくお願ひします!

新年明けましておめでとうございます。昨年は、会員の皆様の日頃のご支援のおかげで、無事に1年を終えることができました。受付スタッフ一同、感謝を申し上げます。本年も高瀬蔵をよろしくお願ひします。

(受付スタッフ一同)

## 会費納入のお願い

当法人運営につきましては、日頃よりご協力を賜り感謝申し上げます。令和4年会費のお支払いがお済でない方は、高瀬蔵受付にて納入頂きますようお願いいたします。(事務局)

### NPO 法人 高瀬蔵

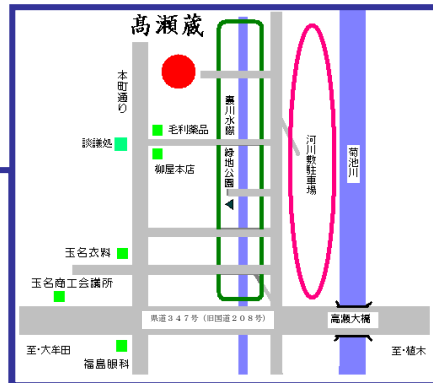
熊本県玉名市高瀬 155-1 (〒865-0025)

TEL・FAX 0968-72-2480

E-MAIL info@takasegura.jp

URL http://takasegura.jp

開館時間 8:00~22:00(イベント開始時間により変更あり)



◆◆◆ 開館18年目となりました! ◆◆◆



アート in 高瀬 彫刻展 (崇城大学芸術学部教授 勝野真言 彫刻展)

皆様と共に蔵の成長を願って

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様方におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

高瀬蔵の運営につきましては、日頃よりご理解とご支援を賜り心より御礼申し上げます。

この3年間を振り返りますと、新型コロナウイルスの発生により高瀬蔵を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いており、今年こそは以前の活気を取り戻せたらと試行錯誤する日々が続いてお

ります。そのような状況の中でも感染対策を考慮し、ご利用いただいている方々に励まされ、これまで以上に意欲を持って取り組んでいかなければと微力ながら運営に携わっております。

私事ではありますが、昨年は思いもよらず高齢の母の介護にあたることになり、他人事のように見聞きしていた老々介護に向き合う一年でありました。その生活のなかで感じたことは、一人の老人のために何人もの専門の方々からアドバイスやサポートをして頂き、周りの方々への支えの中で生かされているという有難さでした。

高瀬蔵におきましても、皆様に学びや楽しさの場を提供させていただき、皆様からは、お知恵やお力をお借りし、共に成長しつつ新しい一年の歩みを始めたいと思います。

本年もこれまでと変わりになく高瀬蔵を見守り応援していただきますようお願いいたします。皆さまにとって健康で実り多き一年となりますよう祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

理事長 猿渡 公予





# 高瀬界限巷間噺 ～自主事業もwithコロナのもと徐々に開催することができました!～

## 第21話 マンガワークショップ『ミリペンで絵を描こう!』



皆で描いたイラストを掲げて記念撮影!



10月21日の高瀬界限巷間噺第21話は、合志市地域おこし協力隊員でマンガミュージアムスタッフの安在渉さんにお越しいただき、マンガワークショップ「ミリペンで絵を描こう!」を開催しました。

「ミリペン」は、その名のとおり0.1ミリ、0.2ミリから1ミリなどミリ単位の線幅が描けるサインペンの一種で、マンガやイラスト、製図などに使われています。ワークショップでは、安在さんのかわいいイラストをミリペンでトレース、さらには色塗りと、プロの道具を使わせてもらいました。簡単なイラストから始めてより複雑なものへと、小学生から人生の先輩方まで、皆さん夢中になってペンを走らせていました。安在さんのお話を聴いて、道具を使うだけでなく、人にうまく伝えるための表現方法まで学ぶことができました。

合志市マンガミュージアムでもワークショップを開催されているので、ぜひ参加してみたいものです。また、今回は小学生親子の参加も多く、今後も幅広い年齢層に参加いただける企画を考えていこうと思います。(文化部会)

## 第22話 祝 国指定史跡『熊本藩高瀬米蔵跡』

11月11日、高瀬界限巷間噺第22話祝!国指定史跡『熊本藩高瀬米蔵跡』を開催しました。皆さんおなじみの「俵ころがし」を含む、高瀬船着場跡、高瀬御蔵跡、晒船着場跡が、熊本藩高瀬米蔵跡として、ちょうど10日付けで正式に国指定史跡となるという見事なタイミングでした。

話し手は玉名市立歴史博物館ころピア館長の竹田宏司さん。古くから菊池川河口の港であり、交流の拠点として栄えてきた玉名。古墳時代には朝鮮半島の文物がもたらされ、大阪まで石棺が運ばれていました。また平安時代の終わりくらいからは、中国船などが入ってくる国際貿易港として繁栄しました。伊倉には日本最古の中国人墓があり、江戸時代はじめには唐人町が存在していました。

その後江戸時代をつうじて、熊本藩最大の米の積出し港として栄えてきました。「天下一の米」とされていた肥後米を、なんと年間20万俵も大坂堂島米市場へ向けて積み出す拠点となっていたのが、今回国指定史跡となった熊本藩高瀬米蔵跡です。今回は改めてその大切さを学ぶことができました。「国指定はゴールではなくスタート」ということで、私たちみんなで歴史を学び、これからの保護とまちづくりなどへの活用を考えていきたいと思っています。

(文化部会)

